

## WG 活動報告

### 15: 固形腫瘍

#### ① WG メンバーリスト

| 氏名           | 所属               | 診療科           |
|--------------|------------------|---------------|
| 責任者<br>井上 雅美 | 大阪府立母子保健総合医療センター | 血液・腫瘍科        |
| 岩崎 史記        | 神奈川県立こども医療センター   | 血液・再生医療科      |
| 松野 良介        | 昭和大学藤が丘病院        | 小児科           |
| 山本 将平        | 東京大学医科学研究所附属病院   | 小児細胞移植科       |
| 高橋 義行        | 名古屋大学大学院         | 医学系研究科成長発達医学  |
| 小川 淳         | 新潟県立がんセンター新潟病院   | 小児科           |
| 松本 公一        | 名古屋第一赤十字病院       | 小児医療センター血液腫瘍科 |
| 藤崎 弘之        | 大阪市立総合医療センター     | 小児血液腫瘍科       |
| 清水 崇史        | 東海大学医学部附属病院      | 小児科・細胞移植科     |
| 渡邊 健一郎       | 京都大学医学部附属病院      | 小児科           |
| 小林 良二        | 札幌北楡病院           | 小児科           |

#### ② 2012 年 12 月末時点で承認された研究、及び業績一覧

|   |  |
|---|--|
| 15-1  | 「中枢神経腫瘍に対する造血細胞移植の成績」 PI: 岩崎史記                       |
| 学会発表・論文業績:  |  |
| 15-2  | 「造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績」 PI: 小川淳 |
| 学会発表: 第 53 回日本小児血液・がん学会学術集会(平成 23 年 11 月 25 日-27 日)、ベシア文化ホール・前橋商工会議所  |  |
| 論文業績:   |  |
| 15-3  | 「小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討」 PI: 山本将平                    |
| 学会発表: 第 53 回日本小児血液・がん学会学術集会(平成 23 年 11 月 25 日-27 日)、ベシア文化ホール・前橋商工会議所  |  |
| 論文業績:   |  |
| 15-4  | 「神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討」 PI: 高橋義行                        |
| 学会発表: EBMT 2012 (April, 1), Paris, France, Unrelated cord blood transplantation for children with high-risk or relapsed neuroblastoma |  |
| 論文業績:   |  |
| 15-5  | 「神経芽腫に対する造血幹細胞移植の成績」 PI: 井上雅美                        |
| 学会発表・論文業績:  |  |
| 15-6  | 「網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討」 PI: 小林良二                      |
| 学会発表: 第 53 回日本小児血液・がん学会学術集会(平成 23 年 11 月 25 日-27 日)、ベシア文化ホール・前橋商工会議所  |  |
| 論文業績:   |  |

|   |   |
|---|---|
| 15-7  | 「横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI:小林良二            |
| 学会発表:第53回日本小児血液・がん学会学術集会(平成23年11月25日-27日)、ベイシア文化ホール・前橋商工会議所 |   |
| 論文業績:   |   |
| 15-8  | 「ウィルムス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討」 PI:小林良二  |
| 学会発表:第53回日本小児血液・がん学会学術集会(平成23年11月25日-27日)、ベイシア文化ホール・前橋商工会議所 |   |
| 論文業績:   |   |
| 15-9  | 「移植後再発小児神経芽腫に対する造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI:松本公一 |
| 学会発表・論文業績:  |   |

③ 会議開催記録(2012年1月-12月):開催実績なし。

| 日時 | 場所 | 会議内容 |
|----|----|------|
|    |    |      |

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012年11月末時点)  
(332)回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

2011年度内に、課題のほとんどが学会発表された。すなわち、小児における主要固形腫瘍についての学会発表は終わっている。そのような事情から2012年度は活動実績が乏しい。論文化については、二次調査が必要かも知れない。まだ実績を上げていない課題については、再検討を要する。

また、本WGは小児科メンバーで構成されている。成人固形腫瘍について検討する必要は？

責任者の交代も含めて、固形腫瘍WGの今後の方向性についてメンバー間で議論する。